

児童デイサービスすきっぷ美瑛2nd

2020年1月実施

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%	20%			基準に沿ったスペースは確保しているが、利用児が使用するものが増えてきているので整理整頓をしてスペースを確保していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	40%	40%	20%	・声掛け。・人員不足	配置基準は満たしている。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		20%	80%	・バリアフリーではない。・バリアフリーにはなっていない。・古い建物の為段差が多い。車いす利用の利用児はいないが、声掛けで子供たちには伝えている。・建物が古くバリアフリー化はされていないが段差などは声掛けで注意を促している。	安易なバリアフリー化は、できる・やれる子どものスキルを低下させてしまう恐れもある為、必要性を感じた場合はその都度協議を行っていく。
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%			PDCAサイクルについては研修済。日々の業務にて「報・連・相」を徹底し、PDCAサイクルを話し合う機会を設けていく。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%			保護者向け評価表の対応策に、スタッフ全員目を通してもらうことで業務改善を意識付けした上で話し合う機会を設けていく。
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	40%	20%	40%	・私が覚えていないだけかもしれませんが余り印象に残っていません。	玄関の掲示と保護者へ配布をしている。今年度からホームページでの公開も行っていく。
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	20%	40%	未記入1名。・していない。・公開しているのかわかりません。・第三者が誰かもわからない。作っているかもわからない。・外部評価は行われているのかわからない。	重要事項説明書にも記載しているが、第三者による外部評価は行ってない。今後、必要に応じて検討していく。ただし、保護者に対してはアンケート調査を実施して意見をもらい、業務改善へ繋げている。
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%				毎月1回以上研修を行い、スタッフの支援力を高めていく。
	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				保護者のニーズや子どもの課題を考慮して作成している。またモニタリングにてスタッフ全体で子どもに対して、どのような支援が必要か模索し、提案していく。
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%				統一したツールを使用し、必要に応じて追記を行っている。また、新規の方が来た際にはアセスメントシートを回覧している。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
適切な支援の提供	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%		・立案は個人で行う事もあるが、内容の検討などは、ミーティングで協議している。	今までは特定のスタッフで行っていたが、今年からミーティングを行い、全体で話し合う機会を設けている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・固定化してほしいという話もある。	活動を固定してしまうと、曜日固定の利用児にとって様々な活動を提供できなくなる観点から固定化はしない。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	60%	20%		未記入1名	休日、長期休暇には外出支援や平日では時間的に厳しい活動を取り入れ「ねらい」を設定し支援している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				子どもに合わせて判断し、個別支援と集団活動を適宜組み合わせて計画を作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				朝会と昼会にて打ち合わせを行い、当日の支援内容や役割分担について確認を行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	20%		全員で出来ない事もある。・朝会、昼会で情報の共有を行っている。	当日は送迎や業務終了時刻が異なる為、厳しい場合が多いが必ず気づいた点は、施設長に報告し、翌日の朝会にて取り上げ共有している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			サービス利用計画書のニーズや目標を確認し達成できているか等確認をしている。	業務日誌、ケース記録を作成し、記録を残している。また、いつでも目を通せるよう保管し支援の検証・改善につなげている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				子ども1人に対し、半年毎にスタッフ全員でモニタリングを行い、計画見直しの必要性を判断している。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%			医療的ケアが必要な利用児は現在いないが、利用児に合わせて基本活動を行っている。	組み合わせ支援を行っている。ガイドラインの必要事項について配布済み。
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%			担当者会議に参画する場合は必ず事前にミーティングを行い、その子どもの状況を確認した上で、ふさわしい者が参画している。	
㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%				必ず送迎時に学校での様子を引き継ぎ、必要に応じて電話や面談等を通し共通理解ができるよう努めている。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
関係機関や保護者との連携	②②医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	20%	40%	40	・受け入れていない。・ご家族との連絡を行っている。・現在医療的ケアが必要な利用児はいない。	医療ケアが必要な子どもに関しては、現在受け入れていない為、該当しない。
	②③就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60%	20%	20	・就学後は共有していない。	保護者の依頼があった場合は聞き取りなどを行っていく。
	②④学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40%	40%	20%	・していない。・学校を卒業し障害福祉サービスへ移行した利用児がいるかはわからない。	該当利用児なし。保護者の依頼があれば、支援内容等の情報提供は可能。
	②⑤児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%		20	・センターの研修は出来るだけ参加している。・個人的には助言や研修を受けたことはない。	今後もケース会議や地域参観等へ積極的に参加します。また、必要に応じて連携を取り助言や研修を受けていく。
	②⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%			・望まれていない。・どのような形で障害のない子供たちと機会を持つのか話し合いをしたいと思う。野球の子供はあるが、それ以外はほぼないと感じる。・外出の時に障がいの無い子供と一緒に遊びに混ざってくることもある。	野球紅白戦や大会、スキー支援、体験外出の機会を設けている。引き続き、このような機会を多く設定していく。
	②⑦(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40	20%	40%	まだ参加したことはない。	依頼に応じ、美瑛町内の自立支援協議会に施設長が参加している。
	②⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			連絡帳でやり取りをしている。必要に応じて電話でお話をお聞きすることもある。	送迎時の会話や連絡ノート、また電話、面談等を通し共通理解ができるよう努めている。
	②⑨保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%				個別でのアドバイス等は必要に応じて行っているが、集団でのペアレント・トレーニングは行っていない。今後、専門的機関を含めたペアレント・トレーニングも視野に入れていく。
③⑩運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・契約時及び必要に応じて活動予定、チラシ、連絡帳に記入。	契約時において、施設パンフレット・相談受付・アセスメントシートに基づき、利用にあたっての説明を行っている。今後も必要に応じて、面談時や通信・書面などで分かりやすく発信していく。	
③⑪保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				保護者様からご相談を受けた際は、安易に簡単な言葉を返さない様きちんと時間を設け対応している。また、必要に応じて助言や気持ちの受け入れ先になれる様、寄り添っていく。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
保護者への説明責任等	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	80%	20%		・茶話会を開いている。・定期的に茶話会を開催している中で保護者同士が情報交換できる場を提供している。	野球紅白戦や大会などで保護者の関りが生まれている。また今後も茶話会を定期的で開催し、保護者同士の連携を支援していく。また、親子参加型のイベントも企画していく。
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				苦情処理委員会を設置している。苦情が発生した場合は「苦情解決処理体制及び手順」に基づき、敏速に対応している。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%			毎月通信及び号外等を必要に応じて発行し、すきっぷでの様子を発信している。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	100%				「個人情報利用の目的」に従い、取り扱いには細心な注意をしている。不要なデータや使用済みの書類などは施設内でシュレッダーにかける等の処理を行うとともに、職員規定により施設外にデータを持ち出すことも禁じている。今後もより一層セキュリティー強化に努めていく。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				送迎の際、できるだけ施設での活動内容や子どもの様子などを伝えている。また、特に重要な詳細については必要に応じて、連絡ノートや自宅訪問、電話連絡等を行い、今まで以上にご契約者様との関係構築に努めていく。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%			・安全上していない。・防犯の観点から難しいと感じる。・年に一度作品展を行い、地域住民の方々にも活動の様子を知っていただいている。	招待するということに関しては利用児へのプライバシーの配慮という点で難しく、何より昨今の凶悪犯罪等の問題においてセキュリティー上好ましくない。今後も子ども達を守る観点から防犯マニュアルに則って対応していく。
非常	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			・年に一度配布。茶話会でも伝える。・マニュアルはまとめてすぐ手に取れる場所に置かれている。保護者に配布されている。	新年度の緊急対応時マニュアルは4月に配布予定。今後も変更等が出た場合は敏速に情報公開していく。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				毎年3回、避難訓練(火災想定・地震想定・噴火想定)を行っている。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				施設内での研修を定期的に行い、虐待防止に努めている。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
時等の対応	④①どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%		20	・身体拘束をしていない。・サービス利用計画書の中で身体拘束について記載欄があるが、身体拘束が必要な利用児はいない。	必要に応じて契約時や面談時等に口頭にて説明している。また、特記事項にも記載している。
	④②食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	60%	20%	20	アレルギーの有無は各家庭と確認は取っている。(書面にて)	医師の指示書はないが、契約時のフェイスシートにアレルギーの有無の記入をしてもらっている。研修も行いスタッフ全員共通認識している。
	④③ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%		・中々出てこない。・内容を確認し再発防止に努めている。	事故報告書については指示を出していない部分もある為今後は他の事業所と同じく細かな事に対しても真摯に受け止め作成していく。